

第3学年 第35号	進路だより かけはし	柏・高柳中 R5. 2. 10
--------------	----------------------	--------------------

◇公立入試までの日程確認②

公立高校の出願も無事終え、あとは本番に向けて頑張るのみです。

2/10(金)の夜に志願倍率が発表になります。公立入試では1回に限り、受検校の変更や希望学科や課程の変更ができます。倍率の発表から志願変更までの日数が短いため、変更のある場合は、スムーズに手続きできるように流れを確認しましょう。

志願変更・・・受検する高校を変更したい。

希望変更・・・普通→国際科 全日制→定時制 午前部→午後部など、
同じ高校内で希望を変更したい。

- ・志願変更、希望変更については、原則保護者と生徒同伴でお願いします。

公立校志願変更、希望変更

2月15日(水) 9:00~16:30

2月16日(木) 9:00~16:00

- ・志願校の変更と、希望の変更等は1回のみです。

*志願変更の手続きについて

必要なもの

- ①新しく作成した願書と写真・・・願書は学級担任に申し出てます。
 - ・証紙欄に「〇〇高等学校に2,200円納入済」と記入します。
 - ・定時制⇒⇒全日制 「〇〇高等学校に950円納入済」と記入し、
新たに1250円の収入証紙を貼ります。
 - ・全日制⇒⇒定時制 証紙欄に「〇〇高等学校に2,200円納入済」と記入します。
 - ・市立高校⇒⇒県立高校 新たに2,200円の収入証紙を貼ります。
 - ・県立高校⇒⇒市立高校 市立高校の納付の仕方に準じます。

※収入証紙は各家庭で購入してください。

- ②自宅宛封筒(長形3号、84円切手)1通
- ③自己表現申告票等、必要な書類も準備します。
- ④「志願変更願」を作成します。用紙は中学校で準備します。担任に申し出ます。
- ⑤先に出願した際の受検票を持っています。

- 手順1) 先に出願した高校に行き、④志願変更願 ⑤受検票を提出します。
高校から⑦「志願取消証明書」を発行してもらいます。
- 手順2) 新たに出願する高校に行き以下のものを提出します。
①願書 ②封筒1通 ⑦志願取消証明書 ③その他の必要書類
- 手順3) 高柳中に来て、志願変更が終えたことを報告します。

*希望変更の手続きについて

必要なもの

- ①「希望変更願」を作成します。用紙は中学校で準備します。担任に申し出ます。
- ②全日制⇒定時制に変更する場合には、新しく願書を作成します。(写真)
証紙欄に「〇〇高等学校に2,200円納入済」と記入します。
- ③先に出願した際の受検票、保護者印を持っていきます。

手順1) 志願した高校に行き、①希望変更願 ②願書(必要な場合) ③受検票を提出し、高校から④「希望変更許可書」 ⑤訂正された受検票を発行してもらいます。

手順2) 高柳中に来て、希望変更が終えたことを報告します。

志願変更、希望変更後の確定した倍率が2/17(金)の夕方に発表されます

このように、志願変更や希望変更は急にできるものではありません。書類上の準備に時間がかかれば、限られた時間の中で、各高校に書類を提出しなければなりません。

これまでの説明の通り、大がかりな動きになるため、本人が責任を持つことが大切です。

特に16日に変更する場合には、必ず保護者同伴をお願いいたします。先に提出した高校の志願取消はできたが、新しく変更する高校には間に合わなかった、ということになると、受検そのものができなくなってしまいます。くれぐれも注意をお願いします

また、変更には事前に判断基準を決めておくことが必要です。例えば「倍率が〇倍を超えたら〇〇高校に出願する。」というように決断のラインを決めておくことも大切です。中学校では13日(月)に二者面談を行い、変更の有無を確認します。

◇◇自主検温のお願い

公立入試まで2週間を切りました。これから入試までの間、発熱、咳等の症状があったらあらかじめ医療機関での受診をお願いします。

検査当日、2日間とも健康チェックシートを提出します。

入試当日に発熱など体調不良がある場合、それまでの状況の説明を求められます。

◇◇受検生へのアドバイスその2：公立高校編

(昨年度、高柳中卒業生より)

- ・面接の先生がこわい
- ・面接はよく調べておいた方がよい。
- ・面接の答えを簡素に答えると、隣の先生がつまらなそうにしていた。
- ・面接が後ろの方になり、待ち時間が長かった。
- ・面接のときの面接官の反応がバレバレで、精神が病みそうになった。
- ・面接の最後の「ありがとうございました」を忘れ、恥ずかしかった。
- ・面接で、緊張して変なことを言っている人もいた。イメージトレーニングを。
- ・面接前に内容を暗記しても、頭が真っ白になるとダメ。丸暗記ではなく要点を。
- ・面接官には子どもがいて、お父さんお母さんみたいだと思えば気が楽。
- ・先生がいっぱいいいたけど、周りに負けないようにあいさつした。
- ・作文はいっぱい練習しておかないと、当日きつい。